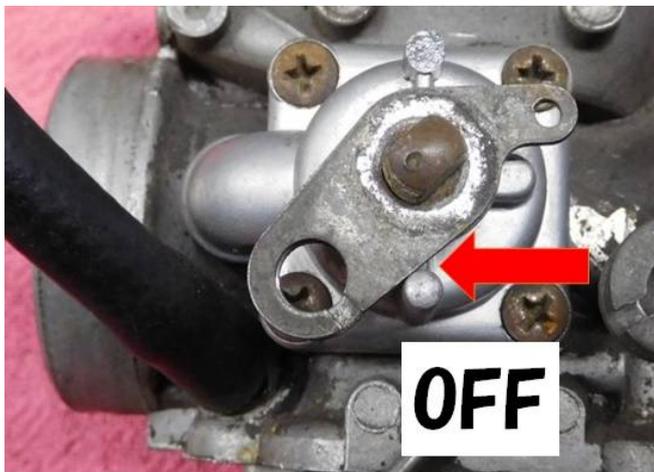


厳寒期始動困難例 R50/5-R100RS (→1980 /5-/7)

R50/5-R100RS (→1980) には大変凝ったマグラ製ラック・ピニオン式の
チョークレバーが装備されています。ケーブル交換などで一度ばらすと構造が複雑なので
左右の同期が合わず始動困難になってしまいます。ラックのギアが一山ずれていると
レバーの可動域が大幅に制限されてしまうためレバーを止まるまで引いてもチョークが掛からない状態になり、
冬季の始動不良になります。また戻してもチョークが掛かったままになるのでアイドリング不調になります。



チョークOFF時ストッパーに接触確認

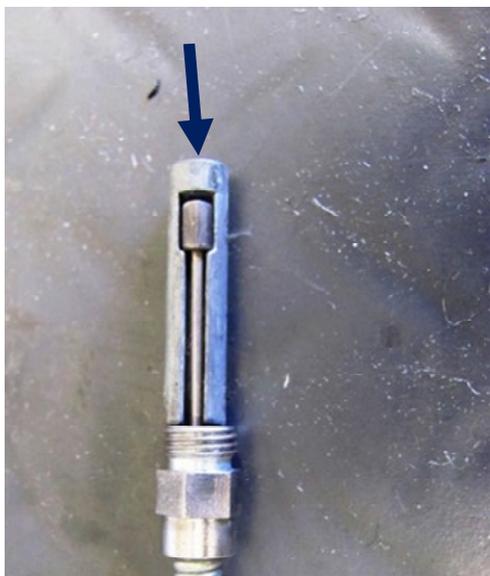


チョーク時上部ストッパーに当たること

キャブ側のアームが上下のストッパーに正しく当たる状態になっているか確認します。

合っていない場合はギアがずれている可能性があります。チョークレバー左右の点検穴にラック端末が
同時に当たっているか確認します。正しくセットされていればレバーは水平の状態から真下まで90度動きます。

(デロルトやチョーク付きBING53は小ストローク)



チョークケーブル・ラック



フル・チョーク時に左右ラックが見えること

CRIMECA